

## 東豊田線の路線バス退出について

### 1. 路線退出の概要

日本平自動車（株）から駿河区内を運行する東豊田線について令和8年3月31日をもって退出したい旨の申し出があったため、本件は、同日をもって東豊田線を退出することの可否について協議する。

退出申出のあった路線の運行状況等は、以下のとおりである。

### 2. 運行状況

東豊田線は、「東静岡駅南口」から市内の主要な観光施設である「日本平動物園」までを、県道74号線を通り桜が丘団地を經由して結ぶ生活交通と観光を兼ねた路線として運行している。運行日は平日のみで、1日あたり6便（3往復）の運行となっている。

2024年度の利用者人数は、1,229人となっているが、1便当たりの平均乗車人数は、0.96人であり、利用者が少ない状況が継続している。

運行事業者である日本平自動車（株）によれば、利用者のほとんどが東静岡駅南口又は日本平動物園で乗降しており、その他バス停の利用者は、全体の1割から2割程度である。

- ・別紙1-1…路線図
- ・別紙1-2…時刻表及び運賃表

#### ○運行状況詳細

運行経路	東静岡駅～日本平動物園	4.59 km（退出申出区間）
運行本数	平日：往路3便・復路3便	休日：運行なし
運行開始日	2015年12月22日	
1便当たりの平均乗車人数	0.96人	
乗車人員	令和6年度：1,229人	令和5年度：1,257人 令和4年度：1,239人

#### ○東豊田・大谷線運行の経緯

2012年8月	東豊田・大谷地区の住民代表から乗合バス運行の要望を受ける。
2012年11月	21条許可バス実現に向けて東豊田・大谷地区コミュニティバス協議会発足
2013年12月	地域公共交通会議にて諮るも21条許可による運送について協議不調
2014年	本業の貸切事業に影響のない範囲内の事業計画を条件に4条許可申請を決意
2014年12月	一般乗合旅客自動車運送事業許可申請
2015年4月	一般乗合旅客自動車運送事業許可取得
2015年12月	東豊田・大谷線運行開始

### 3. 日本平自動車（株）の意向

前記の「東豊田・大谷線運行の経緯」の過程を経て近隣地域の交通空白地課題解決の一助になり、一人でも必要とする住民がいるうちは路線を継続する覚悟のうえ、「東豊田線」を2015年12月22日から運行開始した。

しかし2020年度から2024年度まで5年連続で1便あたりの乗車人員が1人を下まわっていることから、弊社の東豊田線は一定の役割を終えたものとするが、日本平動物園を目的地とする乗客は一定数おり、日本平動物園利用者の利便確保の為、土日祝日に運行している「動物園に行こう線・行ってきました線」を平日にも運行予定である。

### 4. 静岡市関係課の意見

当該路線の退出申出について、関係各課から意見集約を行い「特に意見はなかった。」  
※企画課、市民自治推進課、駿河区地域総務課、観光政策課、日本平動物園

### 5. 本件申出への対応の事務局案

当該路線は、地域住民の生活路線として運行を開始した。

しかし、当該路線の利用者数等を確認したところ1便あたりの平均乗車人数は0.96人で非常に少なく、また各便の利用者は、「日本平動物園」を目的地としている人が大半であった。このことから運行当初の目的である地域住民の足としての役割は終えており、当地区からのバス路線の退出はやむを得ない状況である。

以上より、今回の申出内容である東豊田線の退出については「承認」する。